

☆隊員さんの広場☆



北方学園
藤内 みや子 さん

今年度から仲間入りした新米はげまし隊員です。この1学期、小学5年生に3回6年生に4回、中1に7回入らせていただきました。

数学、あまり得意ではないので、前の晩には教科書を1回読み、ささやかな予習をします。授業中は時々、小テストの答えを見ずに解いてみます。

「お、今なら解けるこの問題。」学生の頃に予習復習しなかったのを心の中で後悔しつつ…涼しい顔して赤ペン持って、丸付けのお手伝いをしています。(笑)



潮のかおり、海風、少し薄くなった松林、生まれ育ったところで支援の仕事ができて幸せです。

一年目、授業を観ながら学生気分に戻り、

二年目、懇親会を楽しみ笑顔に戻り、

三年目、2年生支援が始まり初心に戻り、

四年目、「誰？あの人」から「はげまし隊の人だ！」と言われるようになりました。

え？もう五年目、歳は取っていくけど、日々生徒に寄り添えているかなと考えることができ幸せです。



Tea Time

～ほっと ひといき～



延岡市立東海中学校
数学担当教諭
沖田 哲夫



土々呂中
三輪 由里子 さん

本年度、東海中学校で1年生の少人数指導担当として、はげまし隊の方々にご協力をいただきながら、各クラス8名～12名編成で授業を行っている。毎時間3名のはげまし隊の方に入っただき、生徒の解答のチェックや質問に答えていただいている。生徒たちも、はげまし隊の方が来られるのを楽しみにしているようで、「今日は、来ないんですか。」ときかれることもある。

授業を進めるに当たっては、生徒たちができる限り多くの問題を解くことができるようにと時間配分を考慮しながら、可能な限りはげまし隊の方に協力をいただいている。また、授業以外でも期末テスト前に行うテスト対策のための学習会や夏休み学習会等にも協力をいただいている。生徒にとっても、私にとっても、大変ありがたいことであり、感謝の気持ちでいっぱいである。

おすすめの書籍



『空が青いから 白をえらんだのです』

～奈良少年刑務所 詩集～ 寮 美千子・編
(新潮文庫)

大人からの理不尽な扱いを受けて来て、ガラス細工のように繊細な心を持った子ども達は、二重にも三重にもバリアを張って生きています。彼らの書いた詩を通して、その素の姿に触れた時、普段子どもと接する、我々大人のあるべき姿が見えてきます。